佐伯泰英／書き下ろし新刊予定

2月 6日発売予定
《文春文庫》
新・酔いどれ小籐次 2
『願かけ』

3月 13日発売予定
《講談社文庫》
交代寄合伊那衆異聞 22
『血脈』

3月 28日発売予定
《新潮文庫》
古着屋総兵衛初傳
『光圀』〈新潮文庫百年特別書き下ろし作品〉

4月 9日発売予定
《光文社文庫》
吉原裏同心 22
『夢幻』「佐伯通信」第26号が入ります。（初版の初回出荷分にのみ挟み込み）

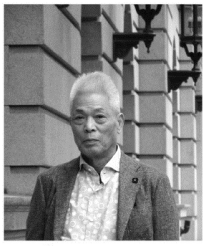
新装改訂版『完本 密命』 全26冊を続々再刊行!《祥伝社文庫》

3月12日発売予定 『巻之一 見参! 寒月霞斬り』『巻之二 弦月三十二人斬り』
4月10日発売予定 『巻之三 残月無想斬り』

佐伯通信

2015年1月（平成27）
第25号
発行
佐伯泰英事務所
担当／双葉社
禁・無断転載

『居眠り』と『密命』


写真提供：佐伯泰英事務所

謹賀新年

平成二十七年がどなた様にも平穏な年でありますように。

筆者自身は新珠の年を迎えてもいささかの感激もない。古希を超えてしまったからだ。悪い話ではない。私の父も母も姉もこの歳には身罷っていた。わが家系は長命な家系ではない。

女は八年、男は九年ごとに心身に変調を来すと聞く。去年が私にとって八回目の節目だった。考えてみればその八回目の節目を乗り切ったのだ。祝着至極ではないか。

さて、今年の目標？といったところでさし当り脳裏に浮かばない。いや、ないことはない。『居眠り磐音 江戸双紙』、当初から言い続けてきた五十巻刊行を本年末に迎える予定だ。となれば完結か。あと二作でめでたく完結するのか？

ううーん、未だ頭の整理がついていない。構成を立てることなくその場の勢いで物語を展開してきたツケがここにきてボディーブローのように効いてきた。差し当たって今年の目標は『居眠り』をどうするか、自分の気持ちと折り合いをつけることのようだ。思えば二〇〇二年四月に刊行した第一巻『陽炎ノ辻』を皮切りにようも続けられたものだ。読者諸氏に気長にお付き合い頂いた賜物だ。感謝の二文字しかない。

同時に祥伝社発刊の『密命』シリーズに今一度手を入れて、『完本 密命』として刊行するプロジェクトが始まる。いや、もうすでに始まっている。本三月から随時二十六巻を刊行していく予定だ。こうなるとやることのようだ。

一作一作こつこつとやっていく。平凡だが、これが新年の決意です。

「佐伯通信」第26号は、4月9日刊行予定の『吉原裏同心22 夢幻』（光文社文庫）に入ります。

「奥山さんに米俵が届いてますよ」

㈱双葉社　文庫編集部
「居眠り磐音 江戸双紙」担当　**奥山康浩**

昨年10月某日、出社早々、会社の受付で表題の言葉をかけられ、思わず我が耳を疑いました。受付の横に目をやると、そこにはまさに米俵が……。

「えっ、俺宛て？　うそッ！　なんで!?」

予期せぬ配達物に呆然としながら、送り主の欄を見てみると、佐伯先生のお名前が……。一体何事かと思いつつ、別送されてきた木札を見て、ようやく納得しました。そう、昨年10月発売の『神君狩り』で書き下ろし時代小説200冊刊行を迎えられた佐伯先生から、付き合いのある版元への感謝の品だったのです。俵の中味も正真正銘、新米60キロ。これぞ青天の霹靂、いやぁ～、スケールがデカ過ぎて度肝抜かれました。

「居眠り磐音」シリーズも今作で48巻、こちらも規格外のビッグシリーズ、目指せ50巻！　というわけで本年も「居眠り磐音」を宜しくお願い申し上げます。

「居眠り磐音 江戸双紙」HP　http://inemuriiwane.jp/

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
http://www.saeki-bunko.jp　佐伯泰英 ウェブサイト　検索

出版社からのお知らせ《祥伝社文庫》

佐伯時代小説の原点「完本 密命」刊行開始！

佐伯時代小説の原点にして、書き下ろし時代文庫という二大ジャンルを築き上げる嚆矢となった『密命』シリーズ。二百冊を突破した佐伯先生の時代小説は、このシリーズから始まりました。

その全二十六巻を、二〇一五年三月より「完本 密命」として装い新たに刊行いたします。

著者による徹底的な手直しを経て、より迫力を増した剣戦、より深まる金杉惣三郎一家の絆が描かれます。三年にわたる一大プロジェクト「完本 密命」にご期待ください。

2015年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと六回発行いたします。
㈱双葉社、㈱光文社、㈱新潮社、㈱文藝春秋、㈱講談社、㈱角川春樹事務所